

平成 30 年度学力試験問題の「出題意図」「評価ポイント」について

数 学 【昼間コース 一般入試：前期日程】		
<p>大学入試センター試験でみることができない，問題解決にいたるプロセスをみることに主眼を置いている。ただ，記述式文章題のみではバランスを欠く恐れがあるので，穴埋め問題も配置している。</p>		
	出題意図	評価ポイント
I 一群・二群共通	対数関数，微分法，高次方程式，数列の和などに関する基礎的能力および応用力をみる。	穴埋め問題であるので，結論のみで評価した。
II 一群・二群共通	絶対値の取り扱い，二次不等式，整数に関する基礎的能力および応用力をみる。	(1)適切に場合分けをすることで，絶対値のついた不等式を二次不等式に帰着できるかをみた。 (2)絶対値が1より小さい整数は0のみであることなどを用いて，整数 n により決まるある数が整数となるような n を決定できるかをみた。
III 一群・二群共通	三角関数の加法定理，場合の数，平面ベクトルなどに関する基礎的能力および応用力をみる。	穴埋め問題であるので，結論のみで評価した。
IV 一群	微分法，積分法，直線の方程式に関する基礎的能力および応用力をみる。	放物線の一部で与えられる曲線 P に対し，ある点における接線およびそれと垂直に交わる直線の方程式を，微分係数などを用いて求められるかをみた。さらに，与えられた図形の面積を積分で表せるか，積分を正しく計算できるかをみた。
V 二群	積分法に関する基礎的能力および応用力をみる。	積分区間を適切に分割することで，被積分関数の絶対値を外せるかをみた。また，積分を正しく計算できるかをみた。